

＼景観づくりの基準を考えよう／ 第2回 ニシカタ地区 景観勉強会

通りと住宅地のまちなみを考える

開催日時：2025年12月16日（火）19:00～20:30
会場：沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス 一般教育棟 302教室

第2回のゴール（目標）

- 沿道のまちなみをつくる建物の要素について知ること。
- 景観づくりにむけた建物の基準内容を具体的に考えてみること。
- みんなができるルールを話し合い、建物の基準内容のグループ案をまとめる。
- 今回考えていただいた案をもとに、基準内容の詳細を事務局でとりまとめ、次回の勉強会に活用する。

プログラム

1. 開会のあいさつと本日のプログラム案内・・・（1分）
2. 第1回のふりかえり・・・（10分）
3. まちなみをつくる建物の要素と基準・・・（5分）
4. グループワーク
★ワーク1★ アダニガービラ沿いの基準を考えてみよう！（40分）
★ワーク2★ 生活道路沿いの基準を考えてみよう！（20分）
5. まとめ発表・総括・・・（15分）
6. アンケート案内・閉会

第2回 景観勉強会の流れ

第1回のふりかえり

① ワークで出た意見の整理

地区の景観の特徴

課題

スージグワー、昔ながらの道

交通の安全性

石垣、石積み

赤瓦

石垣の減少

緑、植栽

石畳

アパート・マンションの増加

井戸、樋川などの歴史資源

樋川・井戸など歴史資源の案内板の不足

歴史的景観、スージグワー景観

② “気になったこと”への補足説明

- ▶道路の美装化について
- ▶市の助成制度について
- ▶石積みの取扱いについて

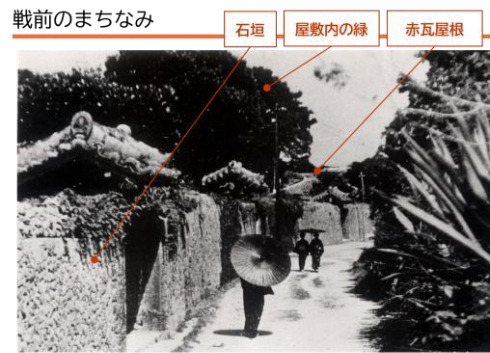
③ アンケート結果

- ▶約9割の方が景観づくりの必要性を感じている
- ▶沿道の建物を含め景観づくりに力を入れる道路：アダニガービラ／赤平当蔵線／大中1号線 など
- ▶基準内容を考える必要がある項目：屋根材（赤瓦）／囲障素材／囲障の長さ／緑化 など



まちなみをつくる 建物の要素と基準内容

- ▶まちなみをつくる建物の要素は主に「屋根（赤瓦）」「囲障（石垣）」「敷地の緑」



- ▶まちなみのイメージ①～③について、基準内容とつくられるまちなみの違いを写真等で紹介
- ▶ニシカタ地区の基準内容を考える参考にさせていただく

① 赤瓦による歴史的なまちなみ

- ▶赤瓦の基準はどうする？



② 石垣などの囲いが連なるまちなみ

- ▶囲障の素材、開口部の幅は？



③ ゆとりと緑のうるおいがあるまちなみ

- ▶道路境界からの建物の壁面後退は？
- ▶緑化は？



★ワーク1★ アダニガービラ 沿いの基準を考えてみよう！

～景観づくりに力を入れる主な道路での
建物のルールを考える～

10分

ワークシートを
使って
各自で基準を選ん
でみよう！



20分

簡単に自己紹介
（ゆかりのある地域とお名前）
＋
選んだ選択肢と
その理由を発表
＊選んだ基準がちがったらメンバー
同士で話し合おう

10分

グループ案をまとめよう！

メンバーで出し
合った内容を
整理する

赤瓦は～～

囲障は～～

開口の幅は～～

★ワーク2★ 生活道路沿 いの基準を考えてみよう！

～身近な道路での建物のルール
を考える～

5分

ワークシートを使って
各自で基準を選んでみよう！
＊アダニガービラで整理した基
準内容を参考に考えてみる



10分

選んだ選択肢と
その理由を発表

＊選んだ基準がちがったら
メンバー同士で話し合おう

5分

グループ案を
まとめよう！

まとめ 発表

12分

アダニガービラと
生活道路の基準内
容について
グループでまとめ
た案を
3分程度で発表

各グループ案の
総括



【アダニガービラ沿い】

1

2



中頭方西海道：琉球王国の政治・経済の発展に伴い整備されてきた道。首里城を起点に平良、大名を通り、浦添を経て読谷、恩納や国頭へ至る

凡 例	
美装化の可能性が ある道路	古道
■ 歴史散歩道	■ 宿道
■ 大中細街路	■ 宿道（現存しない）
	■ スーヅグワ
※①赤平当蔵線は整備済み ※その他の生活道路(市道・里道・私道)は、現状の維持管理が継続される予定 ※幅員は整備後の幅員	
地域資源の分布状況	
■ 検討対象範囲	▲ 指定文化財
■ モノレール	■ 御嶽・拝所
■ 町字界線	■ 宗教施設(官寺)
■ 水域	■ 琉球国関連遺跡
■ 公園・緑地・墓園	■ 水・カー
	■ 交通(道・橋・烽火台)
	■ 近代/公的施設跡
	■ その他

1 【生活道路】（参考）
大中町2丁目



2 桃原町2丁目



3 赤平町1丁目



4 当蔵町2丁目

